**荏原第五地区民生委員協議会　民生委員一斉改選**

　12月1日(木)、民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。荏原第五地区では新たに5名の委員が加わり、19名の委員の皆さんが委嘱を受けました。改選後初めての会議では、新委員の皆さんの顔合わせがや前委員の方からの引継ぎなどが行われました。今回の改選にあたり荏原第五地区民生委員協議会の赤羽根会長からご挨拶をいただきました。(以下、会長からのご挨拶)

　「民生委員制度は発足から100年経ち、地域の身近な相談相手として見守り支援し、行政との橋渡し役として活動しています。妊産婦・子育て世代・児童・介護者・障害者・高齢者と広く関わりを持ち、地域の方々と情報共有することで、お困りごとを一緒に解決できればと考えております。是非お気軽にお声がけください。」新しく民生委員・児童委員になられた皆さんは、これから3年間活動されます。

**荏原第五地区　秋の美化推進デー**

11月20日(日)、荏原第五地区の各町会において秋の美化推進デーが実施されました。これは同地区の全町会がタイミングを合わせて清掃活動を行なうことで、美化意識の向上を目指すもので、春と秋の年2回、同地区行われています。

今回は全10町会が実施、合計で400名ほどの参加者がありました。重点地域を設定して集中的に清掃したり、各自が自宅周りを中心に清掃したりと、町会の実情に合わせた方法で実施しています。この日は朝から曇りがちでしたが、何とか雨が降りだす前に終えることができました。地区全体がきれいになり清々しく感じられました。

**豊町四丁目町会　餅つき大会**

12月4日(日)、豊四中央防災広場において餅つき大会が3年ぶりに開催されました。朝早くから町会役員の皆さんが現地に集まると、もち米をせいろで蒸し上げ、石臼と杵でついていきました。

 つき上がったお餅は、すぐにあんこや黄な粉、納豆など味付けされていました。正午には、持ち帰り用にパックされたお餅が集まった200名ほどの町会員の方々に配られました。

　豊町四丁目町会の唐澤会長は「コロナ対策で持ち帰り方式にした。季節の行事は継続することが重要だと実感した。」と来年への手ごたえを感じている様子でした。